

早稲田大学 教育学部 化学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	無機(金属の精錬)	Feの精錬、Alの融解電解、Cuの電解精錬、生活に関連した様々な金属の問題	やや易
II	理論(結晶格子)	金属の結晶格子の基本的な問題	やや易
III	理論(化学平衡)	圧平衡定数、ルシャトリエの原理、水のイオン積などの基本的な問題	やや易
IV	有機(アミノ酸)	アミノ酸の構造と性質に関する基本的な問題と、ニンヒドリンの構造などのやや応用問題を含む	標準

〔総合コメント〕

<p>今年、問題のテーマごとにまんべんなく基本的な問題が出題されており、思考力ではなく知識量を試している。</p> <p>例年、実験問題、論述問題が頻出なので教科書にある実験に関しては十分なまとめが必要。その際、ポイントとなる事項については30字程度の説明ができるようにしたい。その他、グラフに関しても注意したい。やはり学部の特徴から、化学の基礎知識の理解度が問われるので、高校の教科書のスミズミまで理解・確認することが重要。</p>
